



介護・医療の専門家が日本語で  
ハワイでの透析をお手伝いします。

**Trahel Hawaii L.L.C.**

ハワイで人工透析「ブログ」  
<http://hawaiihd.sblo.jp/>

## ハワイで人工透析ご案内

この度はお問い合わせいただき、誠にありがとうございます。ハワイは豊かな自然と一年を通して寒暖差のない穏やかな気候に恵まれています。そして何より人々の笑顔にあふれるアロハ・スピリッツが、“癒し”の心であなたをもてなし、きっとあなたを幸せな気分にしてくれることでしょう。さらに、ハワイの医療レベル、安全（清潔）レベルは、日本とかわらず、日本語を話す医療スタッフも働いていますので、海外旅行での臨時透析を考える上で、ハワイは最も適した海外旅行先（観光地）といえるのではないのでしょうか。ぜひ、ハワイでのゆったり流れる時間の中で、心身ともにリフレッシュしていただきたいと思います。つきましてはこちらのご案内をよくお読みいただいた上で、手続きを始めていただけますようお願い申し上げます。



(カパフル透析センターの外観)



(カパフル透析センターの内部)

### <施設の特徴> (オアフ島滞在時に最も利用する“カパフル・透析センター”に関して)

- まず最初に 2019 年夏までは“アラモアナ透析センター”を利用していましたが当社の経営判断を持って、ここを継続的（将来に渡って安定的に）利用して行くのは困難と判断し、今後は“カパフル透析センター”を利用する事に決めました。このカパフル透析センターは<U.S. RENAL Care>系列の透析センターでハワイだけでなく全米（グアムを含み）各地に多くの透析センターを展開しているグループの透析センターです。透析ベット数は 23 床（席）ありハワイの現地患者様も通院されている一般的な規模の透析センターです。早朝 6:30、昼 11:30、夕方 16:00 からの 3 つのスタート時間が選択できます。もちろん土曜日でも営業しております。（日曜日はハワイの何処の透析センターも CLOSE です。）日本語を話す事ができるスタッフも事務職&看護師と両方の部門に在籍し、多



介護・医療の専門家が日本語で  
ハワイでの透析をお手伝いします。

**Trahel Hawaii L.L.C.**

ハワイで人工透析「ブログ」  
<http://hawaiihd.sblo.jp/>

くの経験豊かな看護師が治療にあたりますので、安心・安全にハワイでも日本と同じように透析治療を受けられます。（もちろん万が一の時に救急総合病院との連携が取られています。）

- 個別 17 インチモニターによる個別の TV 放送、DVD 鑑賞が可能。
- リクライニング式（フル・フラット対応）透析専用チェアーを使用し、この透析チェアーにはヒーター、マッサージ機能が付いています。リクエストすれば薄手の毛布を無償（景品）でもらえます。
- 施設内の WiFi サービスを利用して透析治療中にインターネットを無料で利用可能。
- 感染者（B 型肝炎等）専用の透析室＜隔離室＞を完備しています。
- 血液透析以外の CAPD（腹膜透析）に必要な器具も提供しています。

## ハワイで透析をするにあたって

### <事前確認>

まずはお申し込みからハワイ透析までの流れを、“ハワイ旅行を計画されるにあたっての手順”（別書類）でご確認ください。**申込時、必ず下記の項目に関してご理解頂いた上でお申込みください。**

- お申し込み前に必ず日本の担当医師にご相談の上、ハワイ旅行の許可を頂いてください。ハワイの透析センターの仮予約が取れましたら日本の担当医師にお客様の透析医療情報提供（PATIENT INFORMATION SHEET）書類を英語で記入して頂く事になります。
- 病院の予約は基本的に 6 ヶ月前から受付けてくれます。但し、ゴールデンウィーク、ホノルルマラソン、結婚式等々 特別な用事がある場合はそれ以前でも予約を受け入れてくれますので弊社にご相談ください。
- 透析当日の 1 ヶ月前までにお申し込みいただくことが基本となっておりますが、それ以後でも、条件によっては特急処理（別途料金）で対応可能な場合もあります。まずは弊社にご相談ください。
- 旅行を計画される際は、まずハワイ透析の予約（仮予約）が取れてから、旅行の最終予約をされる事をお勧め致します。透析の予約が取れない場合など、ご旅行関係のキャンセル料に関して弊社では責任を持つことはできませんので、予めご了承ください。
- 感染症がある方（B 型肝炎、結核の抗原をお持ちの患者様）は受け入れの制限がありますので、事前にご相談ください。（この事前報告で虚偽があると受け入れられません！）



介護・医療の専門家が日本語で  
ハワイでの透析をお手伝いします。

**Trahel Hawaii L.L.C.**

ハワイで人工透析「ブログ」

<http://hawaiihd.sblo.jp/>

- お申し込み内容、医療情報等に変更があった場合は、必ず書面にて変更内容をご連絡ください。
- 透析センターでは食事は提供されません。また治療室内では感染予防対策の観点から基本的に飲食は禁止されておりますので、透析前後でのお食事をご計画ください。
- 透析に必要なための器具や消耗品や医薬品等（ペパリン・EPO等）はすべてハワイのクリニックで準備されていますので日本から針（フィステル）・ダイアライザー（ハワイも使い回しはなく、1回限りの使用です）等々を持参する必要はありません。
- ハワイ滞在中の経口薬（常用内服薬）は必ず日本からお持ちください。ハワイの透析センターでは一切経口薬の処方はありません。内服薬の処方をご希望の場合は、別途ハワイの医療機関で医師に処方箋を依頼し、ドラッグストアにてご購入頂く事になります。（別途費用が必要）
- 透析中の投与薬（エポ等）やペパリン等は透析センターで在庫している決められた（製品の）薬しか使うことができませんので、予めご了承ください。
- ハワイと日本は時差が19時間ありますので「ハワイ旅行 透析スケジュール」をご確認後、担当医師とご相談の上、透析日時を決めてください。当透析センターは日曜日休みです。
- 注射針は日本と違い、18ゲージのステンレス製が一番小さいサイズの針となります。またカニューーラ（留置）ニードルはハワイで使用されていませんので、透析中腕を動かさないようにご注意ください。また、日本からのダイアライザー・注射針の持ち込みはできません。
- 透析センターの処置室には許可を受けた人しか入室できません。ご家族の方で同伴を希望される方は透析センター待合室で待機する事になります。但し、患者の入室&退室時に介助が必要な場合は、家族の方1名のみがその時だけ（2～3分程度）治療室の入室が許可されます。

### <透析費用>

**以下の費用は事前に再確認ください！**（価格が改定される場合があります。）

透析費は \$650/回 で血液透析治療費、透析関連の必要な器具（針、ダイアライザー）、透析中に投与される投薬等が全て含まれます。加えてハワイ側の担当医師へ診察費も含まれております。



介護・医療の専門家が日本語で  
ハワイでの透析をお手伝いします。

**Trahel Hawaii L.L.C.**

ハワイで人工透析「ブログ」

<http://hawaiihd.sblo.jp/>

\* 透析治療費は、最初の透析日に直接透析施設にてお支払い頂きます。お支払いは現金又はクレジットカード（JCB,VISA,MASTERのみ）となります。（基本的に土曜日は会計部門が閉鎖しています。）

### <弊社費用>

弊社の料金は「基本料金」＝ハワイの透析をコーディネートする料金 と「オプション」（必要な場合のみ）料金の2つがあります。この詳細に関しては別途添付します“料金表”を参照ください。

また、弊社オプション・サービスに関しては会社方針の転換

< 詳細は私のブログ：<http://hawaiihd.sblo.jp/article/186992915.html>を参照ください。>

を受け、提供するサービスの2極化を進め、現在「VIP」のみだけ（送迎サービスや付添サービスはありません）となっております。

### <透析費用の還付に関して>

ハワイで透析を受けた場合、上記透析費用は一旦“全額”自己負担にてお支払頂きますが、ご帰国後に各種健康保険（国保・社保）の“海外療育費支援制度”＋“高額療養費支援制度”を利用する事により一定の基準で算定された金額が還付されます。この制度を申請するにはハワイ側で下記書類の作成を透析クリニックで依頼してください。（月がまたぐ利用の場合はそれぞれの月毎に）

- ・ Form A（診療内容明細書） & Form B（領収明細書） - 国保 or 社保の各々フォーマットで
- ・ 上記「和訳文」と透析クリニックで支払った費用の「領収書」の原本

**一般的な「国民健康保険」or「社会保険」を利用されている患者様はカパフル透析センターにて上記フォーマット書類を持っていますので、（これ以外は特殊な保険還付申請の場合はこれを持参の上）ハワイ透析初日にクリニックの担当スタッフに保険還付資料作成依頼を申し出てください。**

### <医療費控除>

海外での医療費は確定申告で医療費控除の対象になります。（詳しくは税務署にご相談ください。）すなわちハワイで実際に支払った医療費から還付金で戻って来た金額を差し引いた金額がこれに当たり



介護・医療の専門家が日本語で  
ハワイでの透析をお手伝いします。

**Trahel Hawaii L.L.C.**

ハワイで人工透析「ブログ」

<http://hawaiihd.sblo.jp/>

ます。加えてが控除に関しては「治療費以外に看護師等に依頼した療養上の世話の対価」（弊社「基本料金」は治療上の世話ではないのでこれには当たりません。ただし「病人の付添いを頼んだ場合の療養上の世話に対する対価に加えて、診療等を受けるための通院費、送迎費等」が--<弊社「オプション」がこれに該当>も含まれます。

### <透析センターへの交通手段>

現在利用しているカパフル透析センターはホノルルで最もホテルのたくさん点在するワイキキから一番近い距離（ワイキキ中心から 3.5km : 車で 10 分程度）にある透析センターとなっており、公共バス、トロリーバス、タクシー等々の各種交通手段でアクセスできます。もちろん脚力に自信があれば徒歩でも通院可能です。当然 車を利用した交通手段が一番便利で、弊社ではこの車の手配に関して、インターネットを利用した“Uber”（自動配車システム）やタクシー等を利用した「セルフ・ブッキング」（“自力予約”）を推奨しております。“Uber” 利用すれば 英語の会話が必要なくスマートホンのアプリで、正確な時間と場所に送迎車を手配できます。（チップも含めた“支払い”もアプリ上で完結）

また、日本人が滞在する一般的なワイキキのホテルには常時（早朝でも）タクシー待機していますので、待ち時間無し（予約なしで）でタクシーを拾う事ができます。 当然 料金に関してもこれら「セルフ・ブッキング」できれば弊社料金よりも片道あたり“半額”となり、たいへんお得です。

あとは透析センター内部へ自力<セルフ>で入室し、待合室で待機できれば、指定時間に透析センターの日本人スタッフが現れますので、何の心配もなく気軽にハワイで透析ができます。

そこで 弊社ではこの「セルフ・ブッキング」推奨のためにブログでのこれらの“情報発信”に加えて、各種資料（書類）を準備し提供しておりますので、必要でしたら弊社に資料請求ください。

### <海外旅行保険>

ハワイでの透析費用は海外旅行保険では支払われません。また、一般的に既往歴のある病気に対しても同じです。但し保険会社によっては既往症（=持病）の悪化（例：腎不全や糖尿病に関する処置）などが一部対象になるオプションがありますので渡航前の加入をお勧めします。詳しくは各海外旅行保険会社にお問い合わせください。



介護・医療の専門家が日本語で  
ハワイでの透析をお手伝いします。

**Trahel Hawaii L.L.C.**

ハワイで人工透析「ブログ」  
<http://hawaiihd.sblo.jp/>

## Trahel-hawaii L.L.C.社ご案内



**Trahel Hawaii L.L.C.** 代表：Kenji (Masahiko) YADA E-Mail; [kenji2@trahel.com](mailto:kenji2@trahel.com)

住所：500Lunalilo Home Rd.#43E Honolulu, HI 96825 USA

Tel:1-808-277-712 Fax:1-808-395-6243 日本事務所：080-3655-0881 日本のFAX：020-4622-9961



<弊社スタッフ>弊社、代表の矢田（下記の資格保有）を含め 日本の元透析看護師、現地日本人移植コーディネーター、日本人ドライバー等 専門スタッフがお客様のハワイでの滞在をサポート致します。



日本人 元透析看護師



日本人 移植コーディネーター

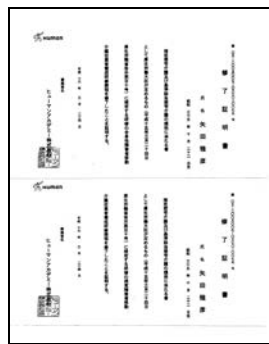


日本人 ドライバー

最後に弊社は**創業（2006年）から Total : 1,150 名様以上の透析患者をお世話してきた実績**を持ち、“透析の専門家集団”として各種サービスを提供できると自負しております。何かご不明な点がありましたら、いつでもお問い合わせください。ご連絡をお待ちしております。



アメリカの看護師資格証書



日本の介護師資格証書



ハワイのタクシー免許